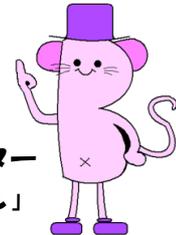


2013年4月28日

## 2013年3月卒業した大学生へのアンケート

中国地方BBS連盟事務局長 小山 貴弘（こやまん）

中国地方BBS連盟マスコットキャラクター  
「チュウBくん」



2013年3月に大学を卒業した、中国地方のBBS会員を対象に、「社会人になってBBSを続けたいですか？」というアンケートを、2013年2～3月に行った。

対象とした地区会は次の通り。アンケート用紙は別紙。

### 【島根県】

- 松江地区BBS会（島根大学・学域）＜4名中3名回答＞
- 浜田地区BBS会・島根県立大学BBSサークル＜4名中3名回答＞

### 【岡山県】

- 岡山地区BBS会・川崎医療福祉大学BBSサークル＜7名中全員回答＞
- 美作大学BBS会（学域）＜4名中2名回答＞

### 【広島県】

- 東広島地区BBS会（1名社会人を除いて広島大学）＜8名中7名回答＞

### 【山口県】

- 山口BBS会（山口大学，山口県立大学・学域）＜22名中13名回答＞
- 宇部BBS会（宇部フロンティア大学・学域）＜4名中全員回答＞

2012年1月にまとめたアンケート結果に、中国地方において学生が社会人になって続けている会員は14名。（中国地方全会員の4%）

今アンケートの目的は、前回と同様に、学生が社会人になってもBBSを続けることができるようにするためにはどうしたらよいかを探すこと。そして今回は対象を絞り、卒業する学生を対象とし、現実的にどう考えているか、知りたかった。

また、内閣府青年国際交流事業 平成24年度青年社会活動コアリーダー育成プログラム（青少年関連活動）にて、私はBBS会員として2012年10月、ドイツ連邦共和国へ派遣された。私の個人テーマは、「組織運営の人材育成と確保」。学生会員が社会人になってもBBSを継続するにはどうしたらよいか、学んできた。あわせて要点を報告したい。

## 【結 果】

- 卒業生52名中、39名回答があった。（回答率：75%）
- 「社会人になってもBBSを続けたい？」→54%  
回答方法が、0～100の数値記入で、どのラインで継続を決めるか等、設定していなかった。反省点である。  
→地区会ごとに大きな開きはなかったが、特徴として組織がしっかりしている会（学域）のパーセントは低い結果となっていた。
- 「転居地のBBS会に連絡していい？」⇒11名の会員がOK（28%）  
2012年1月にまとめた、中国地方の学生BBS会員を対象に行ったアンケートの「社会人になっても、BBSを続けようと思いますか？」の問いに、23%の人が「はい」だった。今回の卒業生からのより現実的な回答が28%。開きが大きくないことに驚いたと同時に、我々が努力を続ければ毎年、全学生会員の内、約4分の1は続けたいと思う可能性があると言っていると思う。
- 転居地とのマッチングについて  
現在希望者から、詳細を聞いている。  
→転居地に学域BBS会しかなく、入会できない。（4件）  
気持ちがあっても入会できない現状がある。  
（無記名が2名いた。残念！）
- 山口県の「さいきょうBBS会」は、地域を問わず入会できる地区会で、山口BBS会（学域）を卒業したばかりの1名が、自ら入会した。

## 【分 析】

- このアンケートでメインにしていたのが、「社会人になってもBBSを続けたい？」だった。しかし値は人によりそれぞれで、全体をまとめてパーセントで現わしても、意味がないのかなと結果を出して感じた。  
それよりも、「転居地の地区会に連絡していい？」の問いの方が重要だと感じた。OKの人数が多い少ないに関わらず、社会人になってもBBSを続けたいという人が必ずいるということ。この人材は大切にしなければならない。
- 前述した、山口のさいきょうBBS会のように、入りやすい地区会があるといいなと思った。
- 私（アンケート実施者）と顔が見える（関わりが強い）地区会からのアンケート結果は、説明を加えるなど、丁寧な回答が多かった。  
→結局はひと対ひと。いろんな地区会の会員と関わりを持つことが大切。
- 学域BBS会では、大学を卒業と同時にやめるのが普通。これについては続けるための仕掛けを考える必要があると思う。

## 【対 策】

- 日本BBS連盟常務理事の橋本万由子さんや、中国地方BBS連盟理事の福田抄湖さんが、女性BBS会員の活性化について企画中で、先日の中国地方BBS連盟理事会にて、福田理事から協力依頼があった。

学生において女性会員は多いが、社会人では男性会員が多い傾向にあり、社会人になっての女性会員継続について、見本となる女性社会人会員を増やすなど、対策が必要であると思う。私にできることがあれば応援したい！

- 「組織」として学生会員が社会人になっても継続できるように手を打つ必要もあるが、学生会員（のみに限らず）ひとり一人へのフォローが大切だと思う。会運営の相談に乗る、また活動の悩みについて一緒に考えるなど、そのためには、社会人もしくは先輩会員の人間性が重要になってくる。

「あの人は信頼できる人だ」、「あの先輩を見習いたい」など、そのような人になるべく、自分を高めるための行動・研さんは欠かせないのではないだろうか。

- 学生などが転居し、その受け入れの地区会について、あたたかく迎える姿勢が大切だと強く感じる。何度か聞いた話したが、地区会を転籍しても、その地区会と相性が合わず、やめてしまった。

いい事例だが、私は鹿児島から広島に転籍した。そして前述した福田抄湖会員は、富山から広島に転籍。今も継続している。広島地区BBS会は居心地がいいのかもしれない。

これも事例だが、岡山地区BBS会・川崎医療福祉大学BBSサークル、そして東広島地区BBS会（広島大学）にそれぞれ大学出身の社会人会員が1名ずついる。定例会は仕事で出席できないが、研修会などに参加している。このような関わり方もあるだろう。

- 『地域』—更生保護と地域は切っても切れない関係だ。「地域のチカラ」により地域を安全に戻すこと（元に戻る力）ができる。

地域のつながりにより、非行防止、犯罪予防また再犯防止へと近づく。

BBS活動について言えば、地域に根差した活動をすれば、継続できる可能性が高くなり、継続した活動があれば、会員募集や地区会運営がやりやすくなる。そして、地域住民からBBSへの、さらには更生保護への理解を得やすくなる。そのきっかけとして、地域とのつながりの深い、保護司会や更生保護女性会と連携することも、ひとつの方法だと思う。

（ドイツで学んだこと）

## 【アンケートを実施して】

まず、卒業した中国地方BBS会員75%からご協力いただいたこと、心から感謝している。

今回は2度目。さらに具体的な行動を探るべくアンケートを行ったが、そう簡単ではなかった。我々ができることとして、社会人会員が学生に対して、「続けてほしい」と声かけするのは大切ではなかろうか。

転籍してもBBSを続けたいという、学生会員を発掘するために、今回のアンケートを継続した方がいいのかなと感じる。他の地方BBS連盟、都府県BBS連盟、また地区BBS会で調査してみるのもいいかもしれない。

最近、鳥取県、島根県の学生BBS会員が増えている。中国地方BBS連盟にとってビックニュースだ！地連がしっかり各県とつながり、情報交換・情報共有がさらにできるよう、事務局としてがんばりたい！

別紙

ふりがな 名前	現在の 地区BBS会	社会人になっても BBS続けたい？ 『0～100』の数値を 記入してください	社会人になって 住む予定の 県、市町村	住む予定の所 のBBS会に 連絡していい？ ○ or ×	「チュウBメルマガ」を 送ってもいい人は メールアドレスを 書いてください

※書いても  
いい人のみ

※書いても  
いい人のみ

※書いてもいい人のみ

※無理に書かんでもいいけん、協力できる範囲でいいけんね。

中国地方BBS連盟事務局 こやまん

